

第25回 のもれ長岡

2.13 金

19:00~21:00 (18:30~受付開始)

エンジョイ! 雪国暮らしのもーれ!

会場 ● アオーレ長岡 市民交流ホールBC
店主 ● 雪を楽しむ店主ブースをご用意。
「雪×酒」「雪×食」「雪×スポーツ」「雪×デザイン」など
会費 ● 2,000円
料理 ● 軽食、飲み物(アルコールなど)用意します。
※駐車場のご用意ができませんので、公共交通機関にてお越しください。
定員 ● 80名
締切 ● 2月10日(火)

のもれ長岡は、もっと長岡が盛り上がるように前向きな市民が集まる市民交流会です。今回のテーマは「雪」。やっかいもの扱いされがちな雪をポジティブに受け止めて、雪国ならではの楽しみ方で交流しましょう!

【申込・問い合わせ先】
NPO法人市民協働ネットワーク長岡 担当: 樺沢・野本
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900
E-mail kyodo-c@ao-re.jp URL http://nkyod.org

ながおか市民協働センター 3周年記念講座

長岡の未来は市民が創る! 「まちづくりデビューのススメ。」

まちづくりって
なんだろう

自分になにか
できるだろう

2.19 木

19:00~21:00 参加費無料

会場 アオーレ長岡西棟3F市民交流ホールB・C

講師 日本NPOセンター代表理事 早瀬 昇氏

- ・大阪ボランティア協会常任理事
- ・日本ファンドレイジング協会 副代表理事
- ・『寝ても覚めても市民活動論』著者
- ・『社会人起業入門』共著



まちづくりって聞くと、行政がやること?って思う人もいるかもしれませんが、でも、これからは市民一人ひとりが主体となってまちをつくっていく時代。専門家じゃないからと固く考えずに、自分に出来ることを見つめてみませんか。ボランティアでも事業でも、「私発」の未来に向けて動くきっかけにしてみませんか?

編集後記

2015年のはじまりました。ながおか市民協働センターももうすぐ3年を迎えます。今回は、3年目の1年間を振り返ってみました。編集しながら、ご相談いただいた内容や市民の皆さんの活動など、いろんなことがあったと、改めて振り返ることができました。2015年も一緒に前に進みましょう! よろしくお祈りします。

ラコマ FREE 2015.2.2 (vol.28)

【発行】ながおか市民協働センター
〒940-8501 長岡市大手通1丁目4番地10
シティホールプラザ アオーレ長岡 西棟3F ながおか市民協働センター
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900
Mail. kyodo-c@ao-re.jp URL. http://nkyod.org



ラコマ

あなたの想いをカタチにする みんなが輝く情報誌

Racotte
vol.28

発行 ● ながおか市民協働センター

2015
冬
FREE



特集
長岡・協働の
あゆみを
振り返る



らこま

vol28 冬号

Contents

特集

長岡・協働の あゆみを 振り返る

(P2～11)

・Kirari★地域の
魅力みーつけた! (12～13P)

・知っておきたい
協働コトバPick UP! (14P)

・おすすめ本紹介・コラム (15P)

・協働センターからの
お知らせ (裏表紙)

らこまとは

ながおか市民協働センターが発行する長岡の市民活動情報誌です。「らこま」という名前には、相手の話に共感した時にでる長岡弁「そうらこま」のように、この情報誌を通してお互いが共感し合い、つながり、長岡の市民活動が広がるように、との思いが込められています。

発行／ながおか市民協働センター
季刊発行／5月・8月・11月・2月の1日発行

市民協働によるまちづくり 長岡・協働のあゆみを振り返る

ながおか市民協働センターの 今日まで、そしてこれから

協働のまちづくりを目指して

市民交流の拠点、市民活動のハレの舞台としてアオーレ長岡と同時に市民協働センターがオープンして3年。『協働』という言葉がまだ市民に浸透していない頃から、協働のまちづくりを目指し、活動を開始しました。行政とNPOによる文字通り『協働』した運営。それぞれの特性と持ち味を活かし、窓口・施設運営、さまざまな相談の受付、補助金申請の対応、交流会やイベントの開催、情報誌・ラジオ放送・ウェブサイトなどでの情報発信など、振り返ればできることを少しずつ積み上げてきたと思います。

「囃(はや)す人」になれたか

3年前、オープンにあたり日本NPOセンター代表理事の早瀬昇さんから「市民協働センターは囃す人になれ!」という言葉頂きました。新しいことを始めようとする人達には「やってみたら」と囃す人が重要で、「企画した人は知らないけど、この人が良いと言うなら問題ないね!」と、囃す人の信頼から賛同者が増えるというもの。確かに、日常を振り返ると頷けますね。市民協働センターはこの責任重大な役目を果たせるように頑張ってきました。

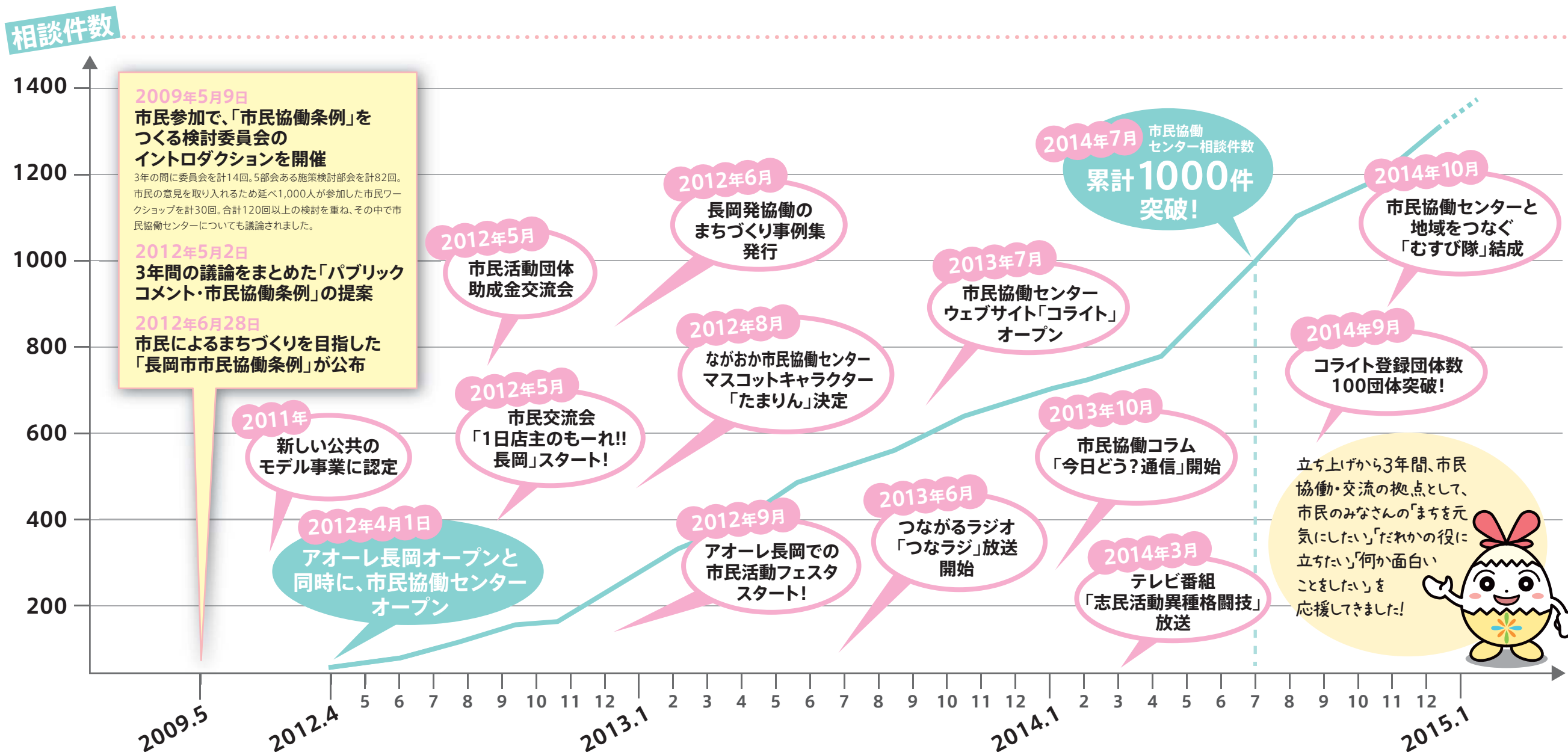
そしてこれから

オープンから3年目の相談件数は初年度の倍以上になり、累計相談数も1,000件を超えました。オープン時と比べ3年分の情報・ノウハウ



の財産が増えました。この財産を活用し、多様な組織、地域コミュニティが様々な場で協働し、新しいものが生まれ、長岡のまちをデザインしていく。そんな、わくわくが生まれる場が市民協働センターでありたいと思います。

ながおか市民協働センター スタッフ一同



市民の「何かしたい」を一步前に！ 1年間でいろんな相談が寄せられました。



長岡のために何かをしたい、前に進みたい、
自分にできることか？ないかと、
多くの市民が、ながおか市民協働センターに
相談に訪れました。

行政

子ども子育て会議の
ファシリテーションを
お願いしたい



長岡市が子育てしやすい環境づくりに必要な様々なアイ
ディアを反映するため、子育てに関わる市民や民間団体、企
業などと意見交換を実施。みんなで支え合う子育てをみん
なで考える「子ども子育てワークショップ」の進行役として
協力しました。「市民みんなで支えあう子育て」「保育ニーズ
を支えるには」「小1・小4の壁を打破しよう」「パパママへの
応援をどうする？」といった4つのワーキング部会をファシ
リテーション。それぞれの立場から意見を出し合いました。

企業

自社で地域活性型
プロジェクトを実施する
アドバイスがほしい

個人

子育てや、プレママを
対象とした
団体が知りたい

行政

県のUターン事業
請負企業への
施策ヒアリングをしてほしい

学校

大学の取組む事業で、
市民協働センターと
連携したい

NPO法人

4月に行う
10周年イベントの
アイデアがほしい

メディア

活動が活発な
地域と団体を
紹介してほしい

コミセン

小学生に防災教育を
教えてもらえる人を
紹介してほしい

学校

高校生にボランティアに
ついて教えてほしい



高校生を対象にボランティア講座を実
施しました。講座を受けた生徒のうち実
際にボランティアをしてみたいと、行動に
移す学生さんがいました。希望する学生
の要望をヒアリングし、要望に合う市民活
動団体を紹介しました。座学だけでなく、

現場でも学ぶ機会になり喜んでもらえました。
それ以外にも学校からは、まちづくりの講座や、オープン
スクールの講師、授業の手伝いなどのさまざまな相談をい
ただきました。

市民活動団体

地域の空き地、空き家を
利用した事業に
補助金申請をしたい

市民活動団体

新しく
女性向け団体を
立ち上げたい



新しくママさん向け団体を立ち上げ
たいと相談。立ち上げ、およびイベント
の実施について打合せ。団体のめざすべき姿をワークショップ型で構
築し、目的とコンセプトを確定。ホームページ、Facebook ページの
立ち上げまでを一緒に支援しました。イベント情報を新潟日報ヘプ
スリリースし、新聞にも掲載。また、イベント活動を行う中で出てきた
問題への対応や関わる人たちとの関係性、今後の活動計画の整理な
ど、継続的に相談に乗り支援をしています。

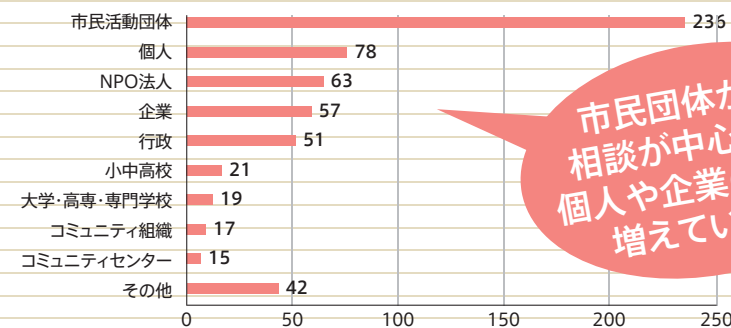
市民の活力が集まる場所として
ながおか市民協働センターを
活用いただき、ありがとうございました。
もっともっと相談にきてくださいね。



数字で見る長岡の市民活動

期間2014年4月～12月の9カ月間

相談者別件数

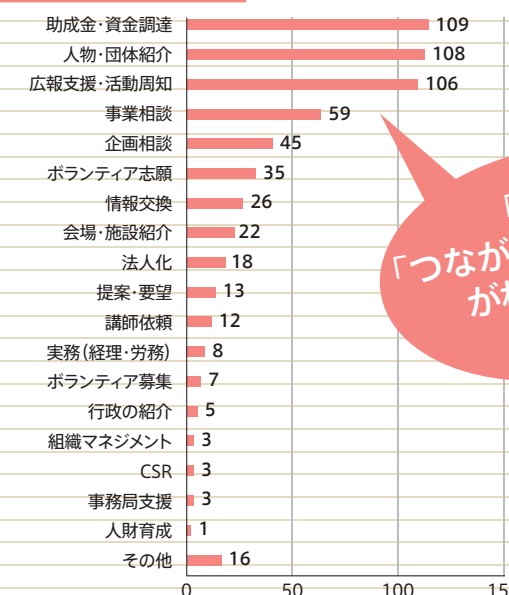


市民団体からの
相談が中心ですが
個人や企業の相談も
増えています！

ながおか
市民協働センターへの
相談件数

599件

相談内容別件数



「お金」
「つながり」「情報発信」
が相談内容の
トップ3



アオーレでの
実施イベント数

230件

※行政を除く。市民活動団体、
企業が主催のイベント数

市民交流イベント
「1日店主のもーれ!長岡」
参加のべ人数(4回開催)

316人 102人

※平成26年12月5日
「ごーぎに大忘年会のもーれ」

市民協働センター
ウェブサイト
「コライト」に
登録されたイベント数

118件

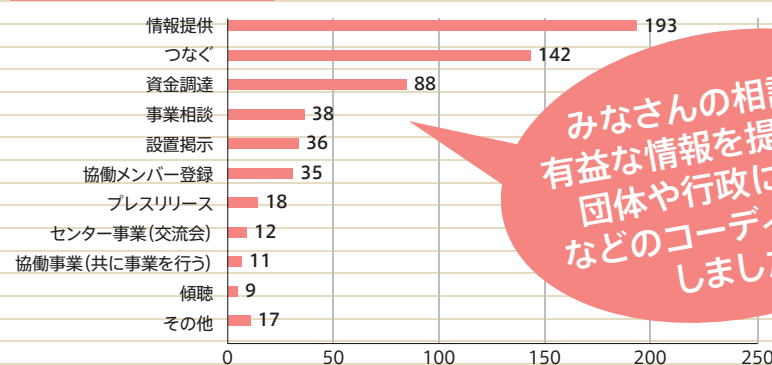
市民活動フェスタ
来場者

5,000人

長岡市市民活動
推進事業補助金

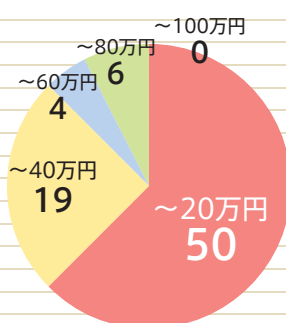
助成事業数
79件

解決方法別件数



みなさんの相談には
有益な情報を提供したり
団体や行政につなぐ
などのコーディネートをし
ました！

市民活動推進事業補助金



20万円以下の
団体が6割以上。
チャレンジしたい時に背中を
押してくれる補助金に！

→補助金事業の一部をP10・11で紹介します。

笑顔があふれた1年間！ 2014年度 ながおか協働年鑑

今年も市民の力により、長岡に多くの笑顔が生まれました。



学生とのも～れ

のもーれ長岡は3年間で25回を開催！
毎回約80名の長岡市民が集まり、こ
こで新たなつながりが生まれています。
→詳しくはP8へ



歌と花で
復幸マルシェ

東日本大震災の復興を祈
りイベントを開催。被災地
やこちらに避難しておら
れる方々、ボランティアな
どが歌い、食を楽しみな
がら交流しました。



乾杯条例にカンパイ

条例可決を記念して、アオーレナカドマにて日本酒で
乾杯！300人超が参加し、盛り上がりました。

狂言の世界にふれる
ワークショップ

京都の狂言師、松本薫氏による初心者
のための狂言の楽しみ方講座、扇を使っ
たワークショップを開催。機那サフラン
酒本舗離れ座敷や四郎丸小学校で開催
し、大人にも子どもにも好評でした。



長岡まつり前夜祭300人で
恋するフォーチュン
クッキーを踊ろう！

当日は400人を超える市民が大手
通交差点でダンスを披露。見ている
ものを圧倒させる演技でした。

栃尾カントリーフェスティバル

栃尾の田園風景を活かしたイベント
を開催。家族連れにも楽しんでもら
えるようキャンプフィールドも新設し
ました。



パティオ・デ・ナガオカ

長岡の人気店が勢揃い！長岡の若手飲食店・美容
室・癒し系サロンなどによる若者向けイベントで
アオーレを盛り上げました。



中国楽器
「二胡(にこ)」体験

楽器の体験を無料で開催。エレク
トーン＆プロ二胡奏者のコンサー
トも大好評でした。



高校生ボランティア講座開催

高校生を対象としたボラ
ンティア講座を開催。その
後、自分の興味のあるボ
ランティア活動に参加しま
した。
→詳しくはP4へ



SONG OF THE EARTH

中越地震10周年。震源地となった川口地域でろうソクを点火し、
支援への感謝の気持ちを伝えました。



はなはす・
れんこんプロジェクト

小学生がれんこん組合の方と協
力して育てた「はなはす」をアオー
レに飾りました。冬には育てた「れ
んこん」の配布も行いました。

2014年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

長岡市の
主なイベント

4月19日 アオーレ長岡誕生記念祭

アオーレオープン2周年と水害・震災復興
10年の長岡の元気と笑顔があふれる2日
間。ステージ、飲食ブース、体験など盛り
だくさんで賑わいました！



6月1日 第65回全国植樹祭

国土緑化運動の中心的行事が長岡市で
開催。新潟県の森づくり活動を発信する
とともに、中越大震災から10年の節目と
して、全国からいただいたご支援に感謝
するとともに復興をアピールしました。



6月8日 第17回全国闘牛サミット
in 長岡(山古志)

全国に9か所ある闘牛大会開催地の市町
村が山古志に集まりサミットが開催され
ました。



6月30日 乾杯条例可決

県内初、日本酒で乾杯を推進する条例が
制定！長岡市は県内最多の16歳元を誇る
地域。「乾杯条例」で長岡の日本酒伝統文
化を継承していきます。



8月2日・3日 長岡まつり大花火大会

慰霊と復興、平和への祈りを込めた長岡
花火。10年目の復興祈願花火「フェニッ
クス」が夜空を彩り、100万人を超えた来場
者を魅了しました。



10月4日 米百表まつり

長岡が誇る「米百俵の精神」を伝え、秋の収
穫を祝うお祭り。次世代を担う子どもたち
が、故郷「長岡」を知ってもっと好きになっ
てくれるように、楽しみながら長岡の歴史と伝
統を学べるイベントが盛りだくさんでした。



10月23日 中越地震から10年

あれから10年。各地で追悼イベントが開
催。震源地となった川口では「Song Of
The Earth」が開催され、「にいがたから
みんなえがおに」のメッセージが発信され
ました。



ながおか市民のつな

ながおか市民協働センターは主体的な市民活動を積極的



市民交流会「1日店主のもーれ!長岡」とは、もっと長岡が盛り上がるように、前向きに集まり交流する市民交流会です。毎回テーマを決めて、学び、語り、飲み、つながる、異業種異分野、多世代が大集合します。アオーレがオープンする時からスタートし、2014年12月までの3年間で25回を開催。毎回約80名の長岡市民が集まり、ここで新たなつながりが生まれています。他地域から視察が来る長岡市の独自イベントです。

- 2014年4月～12月の開催回数:4回
- 参加のべ人数:316人(1回平均79人)

- 2014年5月23日 第22回 学生とのもーれ
- 2014年7月25日 第23回 花火直前のもーれ inリリックホール
- 2014年9月12日 第24回 地域は魅力の宝石箱やのもーれ
- 2014年12月5日 第25回 ごーぎに大忘年会のもーれ

参加者の声

皆様の熱い想いを伺い、さらに美味しいお酒にお料理、サイコーです!

参加者の声

店主のお話が参考になり、活動にも活かそうです。

参加者の声

想像以上に雰囲気がよく、話しやすい環境に驚きっぱなし!

参加者の声

今まで会ったことのない人と知り合いになれてよかった。

参加者の声

長岡で人脈を広げたい! 最適!

店主とは?

のもーれでは毎回テーマを決め、それに詳しい長岡市内外で活躍する人物・団体を「店主」としてお呼びしています。専門知識を持った店主からのプレゼン等の学びの場を提供いただき、それを肴に立場を超えた多くの方が交流しています。

参加者の声

普段なかなか話す機会のない若い人と交流出来て元気をもらった。

がらしくみ(交流会&イベント)

に後押し! 誰もが活動をしやすいまちづくりを応援します!



みんなで輪になろう! ながおかOh家族! 市民活動フェスタ

ながおか市民活動フェスタ'14 9/6開催

- 来場者:約5,000人
- 参加団体:59団体
- ステージイベント ○活動PRブース
- 飲食・物販ブース ○体験ブース
- フードドライブ(家庭で余っている食品を持ちよって頂き、食事に困っている方へ届ける運動) /フードバンクにいがた

活動団体がチカラを合わせて、長岡を盛り上げるお祭り、市民活動フェスタ。9回目を迎えたイベントでは、多くの団体がアオーレに集結し、日頃の活動を紹介。ステージイベントからPRブース、飲食・物販・体験ブースなど、様々なジャンルの市民活動を披露しました。今年は、会場を盛り上げるために市内11地域のご当地キャラクターも参戦!小さなチカラを結集させ、過去最高5,000人の来場者が集まり、市民の皆さんを笑顔に変えました。

実行委員会から

毎年改善を図り今回も新しい演出ができて、来場者に喜んでもらえました。市民団体の皆さんと創意工夫をすることで、大金を出してプロを呼ばなくてもいい雰囲気は作ることができました。次回で10周年になるので、運営の改善を重ね、いろいろな企画を検討していきたいと思います。

市民活動団体・出演者の声

- 老若男女様々な人が来場し、普段はつながらない層の人とふれあえた。
- 会場の奥まで人が入っていました。ゆるキャラの効果も大きかったのでは?
- 思った以上に大盛況!大きなステージで発表できて良かった。

市民活動団体・出演者の声

- 他の活動団体との交流を深めることができました。
- 会を重ねるごとに横のつながりができ、イノベーションが生まれると思う。
- FM-NIIGATAの取材で、ラジオを聴いていた人から反響がありました!

来場者の声

- 各団体の個性が出たブースやステージが面白かった。
- ボールすくいや遊具、ワークショップなどいろんな工夫があって楽しめました。
- 会場や人やスタッフ、すべての雰囲気が良かったと感じました。



長岡市市民活動推進事業補助金から

いまいき
わいわい な事業が生まれています！

ワンステップ・ダンス フェスティバル2014 「ワンステップ実行委員会」

11月9日に長岡市北部体育館にて、ダンスフェスティバルを開催。新潟県内ヒップ・ホップダンス教室の協力を得て、総勢100名以上のキッズダンサーが出演！プロダンサーによる体験レッスンなど盛りだくさんで、1700人が参加しました。子どもたちが「仲間と踊る楽しさ・観せる喜び」に触れる「はじめての一步」となりました。



① 動機・きっかけ

もともとは、開催地である長岡市北部体育館で「ダンスのイベントをやってみないか」と誘われたのがきっかけです。どうせやるならと思い、自分の知っているダンサーやスクールに声を掛け、新潟県全域からダンサーが集まるようなイベントにしたいと思い始めました。

② 実施した感想

今回で3回目の開催をさせていただきましたが、出演してくれたダンサーや、子ども達の笑顔を見た時に、毎年「やって良かった」と感じます。普段関わりが少ないキッズダンサー、講師達の貴重な交流の場にもなっているので嬉しく思います。

③ これからの展望

補助金を使わせていただき、昨年よりも大幅にパワーアップした内容に出来ました。来場者数も約1700人と多くの人に来ていただきました。今後は、出演する事が新潟のダンサーの目標になるように、また本場のダンスやライブを身近に体験してもらえるように、毎年更に良いものにしながら開催していきたいです。

事務局
からのコメント

子どもたちが、ダンスに身近に触れることのできるよいきっかけになります。今後、市内各地域の体育館でのダンスイベントにもチャレンジしていただき、長岡のダンス熱がどんどん高まることを期待します。

さかしだに 逆谷の文化と伝統 de 地域づくり事業

「逆谷の文化と伝統を守る会」

逆谷歴史講演会と和太鼓の演奏会を6月8日に開催、逆谷PR手作り看板を約半年かけ作製しました。講演会は寛益寺住職による「仁王様と曾我禪師坊について」の講演。真言宗豊山派仏教青年会越後支部による「豊山太鼓 千響」の和太鼓演奏では、身体中に響く迫力ある演奏に圧倒されました。PR看板は手作りにこだわり、山桜の枝で「逆谷」を表し、仁王様2体(阿形像と吽形像)を作製しました。



① 動機・きっかけ

寛益寺は、県内寺社では弥彦神社、国上寺に次ぐ古寺で、古くは上杉家の厚い信仰と庇護を受けていました。また、隣接する日吉神社からは、直江兼続公が奉納したとされる「天満天神像」が発見されるなど歴史のある地域です。逆谷地域の多くの史跡や歴史、文化や伝統を知ってもらい、それらを地域内外に語り継ぐとともに、共同作業等で世代を超えた交流により、地域づくりの「きっかけづくり」になればと計画しました。

② 実施した感想

講演会、PR看板とも「手作り」にこだわりました。特にPR看板の仁王像は地元小学生の協力で下絵をケヤキの板に転写し、大人が彫刻刃で手彫りして、ようやく完成しました。予定より3か月遅くなりましたが、完成した時の

達成感はひとしおでした。

③ これからの展望

会が発足して7年目になります。最近活動がマンネリ化していましたが、本事業により大人から子どもまで幅広い交流ができました。中山間地域の小さな村ですが、これからも住民一体となって、「逆谷」の文化と伝統を大切に守っていききたいと思います。

事務局
からのコメント

地域の歴史や伝統を大切にし、地域への愛が強く感じられる取り組みです。子どもたちを含めた地元のみなさんの手作りで事業を行っていく過程が素晴らしいと考えます。

震災10周年 復興“絆”コンサート及び 地域住民との交流拡大事業

「震災10周年復興絆コンサート実行委員会」

震災後、和南津地区では、栃木県のNPO「とちぎボランティアネットワーク」の支援が集落復興の大きな力になりました。継続した交流をしている栃木県の人々を、震災10周年にあたり震災復興コンサートへ招待。あわせて交流会の実施や「きずなマラソン」への参加など川口地域住民との交流の輪を広げることができました。



① 動機・きっかけ

震災1周年のゴスペルグループBBVの復興支援コンサート以降、3周年、5周年と開催。音楽を通じて栃木の人たちとの交流を重ねてきました。今回10周年の節目に再度コンサートを開催することでさらに互いの絆を深め、未来へとつなげていこうと事業を実施しました。

② 実施した感想

コンサートには地元和南津の花笠甚句保存会も出演し花を添え、その後の交流会では、出演者、地元住民など約120人が参加。和南津伝統の天神ばやしや盆踊りを披露、相互の文化交流で盛り上がりました。翌日のきずなマラソンにも一緒に参加し、栃木の人たちが本当に喜んでくれた事が嬉しかったです。

③ これからの展望

現在、和南津復興記念誌を編集中、3月に発行記念交流会を予定しています。また6月のBBV結成15周年コンサートには、川口地域から宇都宮へ鑑賞しに訪れたいと考えています。今後も各団体が地域活動を継続しながら交流機会を創出し、相互に訪問、絆を深めていきます。

事務局
からのコメント

震災の復興支援をきっかけに生まれ、交流を通じてはぐくんできた栃木の方々との絆は、地域のかけがえのない宝だと思います。この事業をきっかけに、未来に向けてさらに絆が強く大きく育っていくことを期待します。

関原地区の古写真収集と デジタル化のための活動

「関原歴史研究会」

家庭に眠る「涙あり、歓喜あり」のお宝映像や写真を発掘し、関原の町民の共有財産とするプロジェクトを実施。関原地区の住民や、団体、学校等に広く声をかけ、写真や映像記録の提供をお願いしました。集まった写真や映像をデジタル化して保存。また、展示パネル展を開催し、多くの地域住民が参加しました。

① 動機・きっかけ

平成24年7月に関原歴史研究会設立10周年を迎えました。今後の活動は事業として、①ふるさと関原マップの作成、②地域の遺跡・記念碑の解説板設置、③関原の古写真収集をすることにしました。同25年11月、関原の映像記録(写真)提供のお願い文章を全戸に配布しました。

② 実施した感想

地区全戸に文書を配布しましたが、写真は思ったほど集まりませんでした。同じ頃、関原老人クラブ連合会の「秋の例会」で、プロジェクターを使って発表し、手ごたえを感じました。その後、補助金を受け活動に力を得ました。また、小学校、関原コミセンで映像の発表ができて喜んでもらえました。



③ これからの展望

もう少し地域の人々から映像の提供を受けられるように働きかけます。できたら地域の写真集を発行したいと考えています。貴重な映像を集め、まとめることに夢を持って活動しています。まだまだ努力が必要なので頑張ります。

事務局
からのコメント

貴重な画像を地域の宝として保存・活用する取り組みは大変素晴らしいです。パネル展に併せて、関原の歴史をガイドするなど、みなさんの力を十分に発揮してください。

Kirari★地域の魅力みつけた!

むすび隊
プレゼンツ

長岡の各地域の宝を市民目線で見つける「むすび隊」が、
とおきの1枚を紹介するコーナーです。

テーマ「私のイチオシ市民活動」

むすび隊とは…

広い長岡市全体の市民活動の情報収集や各地域との連携を深めることを目的とし、地域と地域をむすぶ活動を積極的に行っている方々のネットワークです。

むすび隊 ①



○出身 長岡市岩野(旧越路町)
○得意なこと バイク、カラオケ
絵を描くこと
写真(始めたばかり)

「越路地域」丸山 豊さん(農業者)

越路の若き盛り上げ役! 越路町商工会青年部☆

はじめまして!今回は私も所属する「越路町商工会青年部」を紹介します。主に越路地域で働いている20代~40歳以下の20数名が在籍する異業種の団体で、合併後も越路町の名を残して地域の為に頑張っています。活動内容は、越路地域のほたるまつり・秋まつり・スノーフェスティバルといった季節のイベントへの出店。婚活イベント「さすがた婚」運営、保育園餅つき等です。

イベント出店では、「あんかけ焼きそば」が大好評。異業種の集まりですので飲食業の方も在籍しており、味・調理法はかなり本格的なんです!4年目を迎えた「さすがた婚」は、毎年内容にアレンジ。樹形山に登りながらのトレッキング婚活も企画し、最高のロケーションでランチパーティーを楽しみました。餅つきは、年末年始に地域の保育園全5か所で行います。10年目を迎えた活動で、とても体力を使いますが、子ども達も毎年楽しみにしてくれています。

今後も職種が違うメンバーと刺激し合い、色々な意見を交わしながら、地域の発展を考えていきたいと思います。



子ども達からは「餅つきマン」と呼ばれるようになりました♪

むすび隊 ④



○出身 長岡市与板地域
○得意なこと キャンドル作り

「与板地域」高橋寿明さん(CONTO CANDLE LABO 代表)

ゆる〜いダンスサークルで楽しく踊ろう!

今年、与板地域で活動がスタートしたダンスサークルSmileさんをご紹介します。7月に体験入部からスタートしたダンスサークルSmileは、与板のコミュニティセンターで毎週木曜日の夕方に活動をしています。『お金をかけず気軽にダンスができて、踊ることが楽しいと思って貰いたい!ダンスを始めるきっかけになれば…』と思って活動を始めたそう。

代表を務める倉品恵さんは神奈川県出身ですが、結婚を機に与板に引っ越し、現在は一児の母として育児に奮闘中。幼少期に父親の仕事の都合でイギリスのスコットランドに滞在。滞在中にバレエをはじめ様々なダンスを習い、帰国後も経験を積み、各分野で活躍されていました。地域のイベントだけでなく紅白歌合戦や、競馬、世界スピードスケート選手権、プロ野球オールスター戦等のイベントなどにも出演していたそうです!活動の目標は、皆で振付けをし、楽しく踊れる部活のようなダンスの場を作ること。練習中の子ども達も本当に楽しそうに踊っている姿がとても印象的でした。



イベントでチアダンスパフォーマンスを披露しました!

むすび隊 ②



○出身 埼玉県川口市
→長岡市川口地域
○得意なこと いろんなイベントに
顔を出す 絵を描く

「川口地域」砂川裕次郎さん

東川口よってげ亭ふれあい市

震災以降、多くの支援により復旧・復興……さらにその先へ歩み続ける川口からお世話になった皆様への感謝の気持ちと地域の元気を発信し続けています。私が選ぶ越後川口の「イチオシ」といえば、「東川口よってげ亭ふれあい市」。私が感じる「よってげ亭ふれあい市」の魅力は、どんな天候でも必ず第3日曜日に開催されること。そして、続けることの素晴らしさ(実はこれがよってげ亭最大の強み)。

溢れる地域の情熱は中学生にも伝染し、総合学習のテーマを「よってげ亭」にする生徒もいるほど。開催には川口の人のみならず、長岡技術科学大学のボランティアグループ「volt of nuts(通称:ポルナツ)」など様々な団体や個人が協働しています。いつの日か「よってげ亭」に合わせて様々な市民活動のコラボレーションが始まると面白いことになりそうです。雨でも雪でも吹雪でも毎回「川口の美味い」が並ぶ「よってげ亭」。駅の近くだから電車で来て鮎を片手にちょっと一杯、なんていかがでしょうか?



毎月第3日曜日 10時~14時開催
越後川口駅から徒歩1分 東川口本町通商店街
※冬期は歩行者天国はありません。

むすび隊 ⑤



○出身 長岡市和島地域
○得意なこと 楽しいことを考えること

「和島地域」中野 茜さん(和島青年夢来)

手づくりのクリスマスイルミネーション

冬の和島は海が近いこともあり風が吹くので、長岡市内に比べて雪が少ないです。雪が少なくてもやっぱり冬は寒くて外出を控えがち…そんな和島の冬を盛り上げるイベントを青年夢来が企画しています。

冬のイベントと言えばやっぱりクリスマス。青年夢来のクリスマスイベントも2014年12月で7回目となりました。メンバーは様々な特技を持ち合わせているため皆で意見を出し合い、一からペットボトルツリーを手作り。全長4mの大きなペットボトルツリーは誰でも自由に見ることが出来るよう「道の駅わしま」に設置。隣にあるイルミネーションは本来稲を掛けておく「はざ」を利用して手作りして飾っています。手作りのイルミネーションですが、周囲に何もなかったため見応え十分でした!今回は例年にない暴風雪で荒れてしまい、一度は設置したペットボトルツリーでしたが撤去せざるを得ない状況になってしまいました。次回(今年)は必ずさらにパワーアップしたペットボトルツリーをお披露目したいと思っていますので、楽しみに!



むすび隊 ③

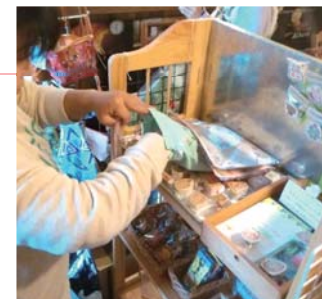


○出身 生まれ→東京都→
白根市(現新潟市南区)→栃尾地域
○得意なこと 中国語

「栃尾地域」刈屋 高志さん

探してきてね、「かくれマーケット」

手作り雑貨ブームが続く昨今、栃尾でも「かくれマーケット」という雑貨販売イベントが開催されています。主催するのは栃尾のイタリアンレストラン・アルペロの店主・五十嵐ご夫妻。地元の作家さんが作品を販売できる場をつくろうとイベントを始めました。栃尾はもともと繊維産業が盛んな地域だったということもあり、手仕事得意な女性が多く、マーケットには手作り雑貨、皮細工、洋服作家などが中心に出店しています。かくれマーケットという名前の由来は「お店自体が大通りから1本中に入った、探してくる場所にあるから。かくれた場所にあるけどお客さんには大勢きてほしい(笑)」と五十嵐夫妻。店主、出展者と同世代の働くお母さんにも多く来てほしいという思いから、週末と平日をまたいだ開催日となっています。中には週末は子守でゆっくり見られないので、平日仕事帰りに立ち寄るお母さんもいる人気イベントです。



次回開催は2/15~17!詳細はブログをチェック!
アルペロ・ブログ
<http://albero2011.blog.fc2.com/>

むすび隊 ⑥



○出身 寺泊地域
○得意なこと よく食べてよく眠り、
とても健康なこと

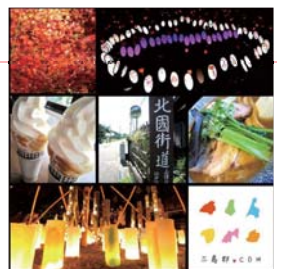
「旧三島郡地域」巻淵 葵さん(三島郡.com管理人)

現・旧三島郡地域の活性化!コミュニティ「三島郡.com」

Facebookのコミュニティ「三島郡.com」の管理をしております代表の巻淵と申します。平成の大合併により三島郡は現在、出雲崎町だけになってしまいましたが、もともとは越路町・寺泊町・三島町・与板町・和島村を含む6つの町村で構成されていました。「三島郡.com」では定期的に現・旧三島郡地域の情報を掲載しています。

そんな三島郡の、若手が起こす地域を盛り上げるイベント情報を掲載することで三島郡の「今」を伝えたり。また、地域の歴史的な場所や建造物を紹介していくことで、三島郡出身の方または三島郡にゆかりのある方に三島郡が誇る歴史の素晴らしさを再認識してもらったり。インターネットを通じて三島郡を知らない方に三島郡地域の今と昔の魅力を伝えることができればと思っています。

私と一緒に各地域の情報を掲載してくれる数名の編集者があり、みんなで協力しながら活動しています。一緒に作ってきたい方・情報提供したい方を随時募集しております。ぜひ、1度コミュニティページをのぞいてみてくださいね。



知っておきたい 協働コトバ Pick UP!



協働をすすめる上で
知っておきたい言葉がいくつかあります。
よく聞けれど、わからない
言葉について学びましょう!

1 コミュニティ・ビジネス

地域資源を活かしながら地域課題の解決を
「ビジネス」の手法で解決する取組のこと。

地域には環境保護、高齢者支援、子育て支援、まちづくり、観光・情報発信
など、さまざまな課題があります。このような社会的課題を「ビジネス」の手法
を用いて住民が主体となって解決しようという取組みがコミュニティ・ビ
ジネスです。

ビジネスを形成するので、地域の雇用を拡大する効果と、ボランティアと
は違い必要な事業費を自ら得ながら活動するため継続性が期待できま
す。さらに、地域住民が地域資源を活かして実践することによって、地域
社会の自立・活性化、地域コミュニティの再生にもつながります。

最近、全国的に広がってきているコミュニティ・ビジネスの運営主体は
NPO法人を中心に、任意組織や協同組合、個人や企業などさまざま。近年
では、ビジネスを通じて社会問題の改善を図るために起業する人々が「社
会起業家(ソーシャルアントレプレナー)」と呼ばれ、話題になっているなど、
注目の取り組みです。

2 チャリティー

慈善の精神に基づいて行われる
公益的な活動のこと。(募金や寄付も含む)
語源はラテン語のカリタス(Caritas)。日本語訳は「慈善」。

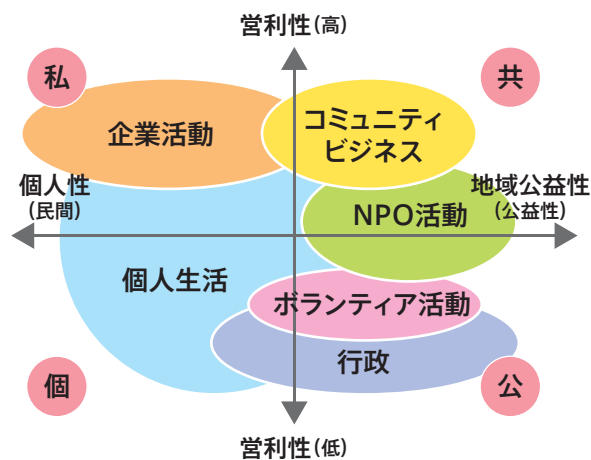
「チャリティーイベント」や、「チャリティー番組」、「チャリティーコンサ
ート」など、チャリティーという言葉は身の回りに溢れていますね。

日本では、赤い羽根共同募金や、あしなが育英会、震災復興に向けた
チャリティーイベントなどといった、困っている人に対する社会福祉支援、災
害支援としての寄付集めが主なものだと思います。しかし、本来的には、社
会貢献全般がチャリティーだと言えます。

世の中には、子育て支援、環境保全、まちづくりなどのさまざまな分野で
社会貢献活動を行っている団体が数多くあります。それらの団体の活動の
意義を認め、賛同し、寄付という形で活動を支援することは、団体の社会貢
献活動に間接的に参加するチャリティーです。

身近な例では、長岡まつり大花火大会「復興祈願花火フェニックス」への
協賛は、復興祈願花火フェニックス打ち上げによる復興祈願と、復興支援へ
の感謝を全国に発信するチャリティーです。

身の回りにあるチャリティーを意識して、自分にもできることを探してみ
ましょう。



＜コミュニティ・ビジネスの事例＞

- 都市農村交流による棚田保全
- 買い物弱者向け移動販売
- 地域の高齢者による伝統的郷土料理の販売
- コミュニティカフェ、地域の茶の間
- 病児保育サービス など



アオーレでの募金活動の様子

協働センター おすすめ本紹介

震災復興が語る 農山村再生 地域づくりの本質

稲垣文彦 ほか 著/小田切徳美 解題



2004年の中大震災で甚大な被害を受
けた農山村では、一説では過疎化の時計が
15～20年早まったと言われました。本書は
人口減少が顕著になった新潟県中越地域で
の、震災復興の過程を詳細に記録していま
す。全国初の人的支援制度・地域復興支援員
制度、池谷や木沢等の各集落で具体的な取
組、イナカレッジや、農山村ビジネスの可能
性などを丁寧に掘り起し、そこから見えてき
た「地域づくりの本質」を論じています。震災
復興から導き出されたのは農山村再生、地
域づくりの「新潟モデル」。全国各地が参考
にしたい、情報が整理された貴重な本です。

今日どう?

通信

越後のひとつ残し ～大雪と残された料理～

長岡らしい季節になってきましたね。突然ですが「越
後のひとつ残し」という言葉をご存じですか? 何人かで
食事に行って、大皿で来た食べ物を遠慮し、一つだけ
残っていることを指した言葉のそうです。よくある光景
ですね。

調べてみると、越後の……だけでなく、関東のひとつ
残しや信州のひとつ残し、肥後のいっちょ残しなど、全
国にもみられる言葉だそうです。日本人は恥ずかしがり
やだからとか、遠慮するからとか……その心境はわか
なくもないですね。もちろん、周りの人を気遣っての風習
だとは思います。

しかし、越後のひとつ残しにはもう一つ、大きな意味
合いが込められていると私は聞いたことがあります。

それは……
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
「冬になると大雪が降って、遅れてくる人がいる。わざわざ

世の中をよくして 自分も幸福になれる 「寄付」のすすめ

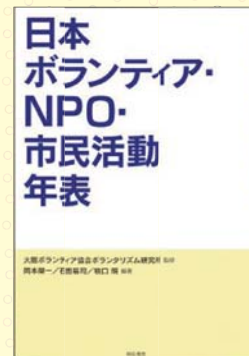
近藤由美 著



寄付の「ガイドブック」的な本です。著者
は、「寄付と言えば政治家やお金持ち、有名
人がする節税対策や売名行為」と思ってい
たそう。しかし、その仕組みを知るにつれ、寄
付が社会を変える可能性に気づきます。本
書では寄付実践者への取材、著者の寄付初
体験ルポ、受け皿となる非営利団体につい
て、税制面でのメリットまで網羅。さらに、最
新の心理学の研究などで、「寄付で幸福感が
得られる」ことが実証されてきたことを紹
介。寄付の社会的効果だけでなく、個人の心
の豊かさにもつながることも解説した、自分
も行動したくなる本です。

日本ボランティア・NPO・ 市民活動年表

大阪ボランティア協会ボランティアリズム研究所
監修 岡元榮一/石田易司/牧口明 編著



これまでになかった、ボランティア・市民
活動の総合年表。700ページを超える分厚
い一冊の中には、明治の創生期から、組織
的な活動に発展した現代まで、140年余り
の日本の市民活動・ボランティア・NPO活
動に関する事項を網羅しています。これら
を社会福祉や文化、スポーツ・レクリエー
ション、平和運動などの全14のジャンルに
分類し、年表だけではなく、その時代を映す
活動や、どんな思いや願いから始まったか
などがコラムで解説。制作に5年余りを費
やした大作は、日本の市民活動の歴史を調
べるときの決定版です。

今日どう?

通信

越後のひとつ残し ～大雪と残された料理～

ざ遠方から雪が降っても来てくださるその人のために、
一つ残しておくんだ。」
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
「雪が降る大変さを思いやる越後人ならではのひとつ
残しですね。
雪が降れば狭い道を譲り合ったり、隣の人の分まで
雪かきをしたり……。少し不便になった方が相手を思い
やれる心が育まれるのでは?と思う今日この頃です。

今日どう? 通信は定期的にウェブで更新中

今日どう?通信

検索!

今日どう? 通信とは
ながおか市民協働センタースタッフが独自の目線で「協働」
を読み解くコラムです。毎週木曜日に協働センターウェブサ
イト「コライト」上で更新されます。お楽しみに。

